

風水害の発生に備え、災害リスクの把握や日頃の備えの重要性を啓発する取り組みを実施する。

「大雨災害に関する防災学習」取組校のサポート・授業実施

防災まさむね君と考える

マイ・タイムライン作成ガイド

マイ・タイムラインとは?
大雨・台風による災害に備えたご家族一人ひとりの「避難計画」のこと。家族構成や地域の災害リスクなど、世帯ごとの状況に合わせて避難すべきタイミングや安全な避難行動を、みんなで確認して備えることができるものです。

マイ・タイムライン作成ガイドの使いかた

- STEP 1** ハザードマップを確認しよう
まずは、自宅周辺の災害リスクなどを把握し、大雨のとき、避難する必要があるのか確認しよう。
- STEP 2** 避難のタイミングや避難場所を確認しよう
避難の必要があるときは、家族構成や雨の降り方にあわせて避難行動を考えよう。
- STEP 3** マイ・タイムラインを作ろう
STEP 1、2で確認した内容を、大雨が降るときの状況に落とし込みながら、マイ・タイムラインを作成せよ。

準備するもの

1. マイ・タイムラインシート
2. マイ・タイムライン作成ガイド
3. 船舶航路ハザードマップ

大雨時の避難計画「マイ・タイムライン」
家の避難計画 マイ・タイムライン

作成年月日 年 月 日

わたしと家族の避難行動

1 災害情報 台風予報・早期注意情報 ※家族全員が共有

- 災害情報発信を確認する。
- 家族の考慮の予定や避難場所を確認する。
- テレビやインターネットで災害情報を確認する。
- 家族や支援者に避難するタイミングなどを相談する。

2 災害発生 大雨・洪水・泥崩注意情報 ※家族全員が共有

- 避難場所や避難経路を確認する。
- 避難経路の危険を確認する。
- テレビやインターネットで避難情報の確認をする。

3 高齢者等避難 ※船舶が共有

- テレビやインターネット、表明電話で避難場所の開設状況や用意を確認する。
- 避難者等避難の発生で避難開始
- テレビやインターネットで避難場所や避難経路を確認し、避難したことを連絡する。
- テレビやインターネットで避難開始の連絡をする。

4 避難指示 ※船舶が共有

- テレビやインターネットなどで、避難の状況を確認する。
- 避難指示の発生で避難開始
- 家族や支援者に避難したことを連絡する。
- 避難完了

5 緊急安全確保 命の危険 直ちに安全確保! ※船舶が共有
すでに物の中で寝ている場合は発生する前に起きるため、必ず安全確保リスクの低い階層の上階や、船内、土留の階層の危険が低い階層に避難する必要がある。避難を必ず実施してください!

家族や支援者の連絡先や連絡方法

氏名	電話番号	自宅以外の住所や電話番号 (勤務・学校など)	もしものときの連絡先 (勤務先など)

マイ・タイムライン作成を通じた「大雨災害に関する防災学習」取組校をサポートし、適切に授業実施につなげる。

防災・減災アドバイザーによる学校や地域での防災講話



学校や地域での防災学習を通じて、ハザードマップの見方や適切な災害への備えや避難行動を啓発する。